



操業スタート！ 菅公アパレル 大山工場

学生服・スクールウェアの大手製造メーカー、菅公学生服（尾崎茂社長）の関連会社

である「菅公アパレル大山工場」（大山町・所子）の開所式が8月6日に行われ、操業を開始しました。

開所式で尾崎社長は「菅公グループ19か所目となる大山工場は、菅公のものづくり精神を受け継ぎ、町民に愛される工場を目指したい」とあいさつ。神職の安全祈願を受けたあと、尾崎社長、森田増範町長ら関係者が操業開始のボタンを押しました。

新しい従業員の多くが町内に住者で、今後の雇用も期待されます。



▶操業を開始した大山工場

巨大かぼちゃ どっしり

遠藤光則さん（大塚）の畑で、巨大かぼちゃができました。

直径50センチ、80キロほどに育ち、これまで作ってきた中で一番の出来栄えということです。かぼちゃは、コンテストなどで使われる品種「アトランティックジャイアント」。

遠藤さんは「自分の楽しみで作るようになって5年。普通のかぼちゃとは管理の仕方が違って、大きく育てるには極意があるんですよ」とうれしそうに話されました。



▲こんなに大きくなりました（奥側）

姉妹都市

韓国・襄陽郡

中学生交流

4年ぶり

韓国・襄陽郡から中学生12人が8月5日から7日の3日間大山町を訪問しました。

大山町日韓親善交流協会主催の歓迎夕食会では、大山町自慢の海の幸を味わいながら、地元の子どもたちと交流しました。

2日目の名和中学校生徒との交流では、生徒会が企画した体験を行ったりと、とっとり花回廊などを見学したりしま



▶韓国の中学生のスマートフォンに見入る子どもたち。言葉が通じなくても交流できます

した。国は違っても同じ中学生同士。初めはお互いに緊張してコミュニケーションをとるのに苦労していましたが、時間が経つにつれて、どんどん仲良くなりました。

1日一緒に過ごした後は、「もつと時間がほしい」とお互いの連絡先を交換するなど、別れを惜しんでいました。



▶名和中学校で記念撮影！「コマ」「けん玉」「すいか割り」で交流しました